

ろう支援者によるろう重複障害者への手話を活用したコミュニケーション支援

○甲斐更紗¹⁾

二神麗子¹⁾

吉村京子²⁾

木村素子¹⁾

金澤貴之¹⁾

1) 群馬大学

2) NPO法人日本アビリティーズ協会

KEY WORDS: ろう重複障害者 ろう支援者 手話活用

目的

様々な障害を併せ有するろう重複障害児が理解・表現に用いる日常的なコミュニケーション手段：手話、指文字、口話

手話が他の手段と比較して理解・表現とともに高い割合で用いられている(永石,2007)

その一方で

・「手話が通じない」という問題がろう重複障害者の卒業後の生活の場である福祉サービスの現場であがっている(群馬大学,2019等)。

・ろう重複障害者支援に携わっているろう者による支援では、ろう重複障害者が言いたいことが「分かっている」「通じている」という話がしばしば見られる。

ろう重複障害児・者へのコミュニケーション支援に関わるろう者である支援者(以下、ろう支援者)が、手話活用によってろう重複障害者とのように関わってコミュニケーションを支援しているのかを明らかにし、ろう支援者の視点によるろう重複障害者への手話を活用したコミュニケーション支援における必要な要素を検討する。

結果

エピソード1例(Table 1)にてろう支援者の手話活用において①から⑤の要素が見出された。

Table1 エピソード1例

①前情報の活用

ろう支援者の行動(1): エピソード1例が出される前にXさんとのやりとりの中で、Xさんがろう学校に通学していたという情報を引き出していたため、Xさんが分かる情報をもう一度出した(手話単語の表出)。

②の対応につなげた

②比較対象の産出

ろう支援者の行動(1): 前述の①の内容を意識させつつ、①で出された「ろう学校」と②の対応である「ここ<障害福祉サービス事業所B>」という指さしで、Xさんが分かる情報を活用することで比較対象の産出を行った。

ろう支援者の行動(2): ろう学校の時の行動と現在の事業所での行動を比較させることで、現在の事業所内でXさんがとっている行動への気づきを促した。

③繰り返し

ろう支援者の行動: Xさんの発言された手話(性格/違う/難しい)をそのまま繰り返しつつ、頷きの手話を表出した。

④Xさんが分かる手話単語の活用による手話文法の産出・疑問の出し方

ろう支援者の行動: ④の対応が出されるまでのやりとりの中で分かった、Xさんが理解できる手話単語(手話/できる/できない/仲良く)を用いることによって、Yes-No疑問を表出した。

⑤繰り返しによる確認と頷きの強調

ろう支援者の行動: 繰り返しや動きを手話で強調することでXさんの話を理解したことを伝えた。

【場面】Xさんは事業所内で、障害を持つ利用者(聴者)にいじめられていると感じ、辛いが彼らに関わりたくないため、解決よりも仕事に集中したいという話をしているところである。

ろう支援者: (/事業所/入った/時/周り/仲良く/したい/気持ち/あった/?//)
 Xさん: (/少し/あった//)
 ろう支援者: (/あった/(じゃあ)/仲良く/方法...)
 Xさん: [ろう支援者の話を遮る] (/謝る/仲良く/楽しく/話/する/気持ち/ある//)
 ろう支援者: (/謝る/?//)
 Xさん: (/うん/そう//)
 ろう支援者: (/へえ/それ/ろう学校/時/?//) ...①
 Xさん: (/そう//)
 ろう支援者: (/内容/分からない/けど/自分/から/謝る/?//)
 Xさん: (/そう//)
 ろう支援者: (/ここ<障害福祉サービス事業所B>/どう/?//) ...②
 Xさん: (/謝る//)
 ろう支援者: (/謝る/?//)
 Xさん: (/謝る/仲良くする/気持ち/ある/大丈夫//)
 ろう支援者: (/今/それ/難しい/苦しい/我慢/?//)
 Xさん: (/我慢//)
 ろう支援者: (/ずっと/?//)
 Xさん: (/ずっと//)
 [略]
 ろう支援者: (/ここ<障害福祉サービス事業所B>/友達/いる/?//)
 Xさん: (/いる/職員/仲良く/できる//)
 ろう支援者: (/職員/なるほど/他の...)
 Xさん: [ろう支援者の話を遮る] (/無理/知的や精神/性格/違う/難しい/難しい/難しい//)
 ろう支援者: (/性格/違う/難しい/なるほど//)[大きく頷く] ...③(手話/できる/利用者/いる/思う//)
 Xさん: (/いる/(人の名前)/聞こえない/ろう学校//)
 ろう支援者: (/他/いる/思う//)
 Xさん: (/〇〇<同じ事業所での他のろう重複障害利用者>/手話/少し//)
 ろう支援者: (/仲良く/出来る/?//)
 Xさん: (/少し/〇〇<同じ事業所での他のろう重複障害利用者>/手話/少し/コミュニケーション/難しい/話/通じない/時/ある//)
 ろう支援者: [大きく頷く] (/なるほど/手話/できる/できない/仲良く/できる/できない/区別/ある/?//) ...④
 Xさん: (/ある//)
 ろう支援者: (/ある/?//)(なるほど//)[大きく頷き、腕組みをする] ...⑤

考察

今回の調査から、ろう支援者が実施した①から⑤の要素は、繰り返しの多用、文法的に単純な構造を用いるといったろう乳幼児が受信しやすい手話を発信する(鳥越,1995;松崎,2001)方法と類似しており、ろう重複障害者本人が理解できる範囲で関わることは本人の認知発達状況に応じて手話表出等の調整を行なうことであると考えられた。①から⑤の要素を活用することで、ろう重複障害者とのコミュニケーションが続くという状況があり、今回の事業所Bから「いろいろと話している」と話があったことから、コミュニケーション内容が広がったと推察されよう。今回の対象者であるろう支援者以外の支援者が①から⑤の要素を手話活用に活かした場合のコミュニケーションの展開等の検討が今後の課題である。